

S 1 淀川区のユニ〜クな…

このコーナーでは、淀川区役所の特色ある取組をご紹介します。

1. 淀川区住みます芸人は「職人」に決定！

大阪市は、吉本興業株式会社と「市民サービスの向上」や「地域の一層の活性化」を目的とした包括連携協定を 11 月 22 日に締結。

協定による取り組みとして、「大阪市 24 区住みます芸人」が、実際に各区に住み、2025 万博誘致に向けた機運醸成や地域に出向いての演芸会の実施など地域を盛り上げる活動をしていただきます。➡



おっくんは、「これから舞台に立つ時は、淀川区住みます芸人と名乗り、淀川区の魅力をネタに入れていきます」、こーぞーは、「淀川区を一緒に盛り上げていこーぞー」とそれぞれ元気に意気込みを語ってくれました。

今後は、各地域でのイベントなどに参加し、「笑い」を通じた地域の活性化や「分かりやすく伝える力」による市民サービスの向上など、区を盛り上げる取組を連携して推進していきますので、楽しみに。

【職人のプロフィール】

こーぞー（写真：左）		おっくん（写真：右）	
生年月日	1989 年（平成元年）11 月 19 日	1991 年（平成 3 年）1 月 15 日	
身長／体重	167cm/59kg	167cm/70kg	
血液型	B 型	B 型	
出身地	山形県鶴岡市	大阪市平野区	
趣味	自炊、ラーメン食べ歩き、たくさん食べる	バーベキュー（夏には週一でします）	
特技	サッカー、人と揉めない、人を信じる	カラオケ	



そして、「大阪市淀川区住みます芸人」は、「職人」（しょくにん）に決定しました。

職人は、「おっくん」（写真：右）と「こーぞー」（写真：左）の 2 人で結成されたコンビ。

12 月 12 日には、区役所を訪れ、山本区長と対談。区長から「なんでもお願いしていい？」と聞かれ、「なんでもやります」と力強いコメントをいただきました！

その後の全体朝礼では、職員を前にネタを披露。ムチャぶりにもかかわらず笑かしてくれました。➡



2. 新東三国小学校 DREAM ROOM を取材！

11月20日（月）に開催された「新東三国小学校 DREAM ROOM」を取材。ドリームルームは、新東三国小学校が参加を希望する児童を対象に月曜日の放課後に開催しており、毎回ゲストティーチャーを迎え、多様な分野の専門家等との関わりを通じて、子ども達が未来に夢を持てる「つながり」と「学び」を提供しています。

この日のゲストティーチャーは、府立北野高校の恩知忠司（おんちただし）校長先生。まず、



続いて行われた4年～6年生の児童約20名への講習では、北野高校1年生の生徒9名がゲストティーチャーに参加。3グループに分かれ、小学生の質問に高校生が答える形で、「好きな人はいますか？」といったものから「受験勉強は大変だった？」というもののまで、憧れの高校生活に興味津々の子ども達。

最後に恩知校長先生から「北野高校の生徒はみんな楽しそう。それが北野高校の良い所だと覚えておいてね」とお話がありました。



1年～3年生の児童約30名が集まった講習で校長先生は、「5年生の時の先生が大好きで学校の先生になりたいと思った。みんなは何になりたい？」と質問。児童から「野球選手、ピアニスト、看護師」などとともに「まだ決めていない」という答えもありましたが、校長先生は「目標は決まらなくても良い、変わっても良い。でもこれになりたいと決めたときは、それになるために一生懸命頑張ることが大事なんだよ」と話されました。無邪気に目を輝かせて夢を語る子ども達に校長先生の顔も緩んでいました。 ▲



ドリームルームを運営する新東三国小学校の近藤正宏校長先生は、「各界、各分野の仕事や取り組み等をゲストティーチャーの講習によって紹介し、子ども達が未来を切り拓く力となる夢や憧れを持つことを目的として、平成29年10月から実施しています。様々な世界で活躍するゲストティーチャーとの関わりを通じて、子ども達が何のために勉強し、それを未来に向けてどのように活かしていくのかを考えることのできる場です」とドリームルームを立上げた目的をお話いただきました。

また、開催を支援している新東三国地域活動協議会の増田さんは、「ドリームルームは社会の扉。色々な大人と触れ合い、話を聞き、自分で考え、課題を乗り越える経験を通じて、色々な可能性を感じてほしい」と話されていました。

3. 糖尿病予防講演会を開催しました！

11月14日の「世界糖尿病デー」にちなみ、11月30日に糖尿病予防講演会を開催。

ふくだ内科クリニック院長の福田正博先生から、「糖尿病と生活習慣病・認知症との関係や、ベジファースト・サルコペニア・フレイルとの深い関係」について、最新情報を盛り込み、分かりやすくお話をいただきました。



参加者からは「今後の生活に活かし健康寿命を延ばしていきたい」「糖尿病に対する考え方が変わった。予防と食事の大切さがわかった」など、前向きな意見が聞かれました。

自分のため、家族のために、今日から健康づくりに取り組んでいきましょう！

※「ベジファースト」…血糖値の上昇を防ぐため野菜から食べること。「サルコペニア」…筋肉量が減少し筋力や身体機能が低下した状態。「フレイル」…加齢に伴い、心身機能が低下し日常生活の活動や自立性が低下していく虚弱な状態。



4. 淀川区地域課題すっきり解決活動補助金対象事業が決定！

11月29日に「地域課題すっきり解決補助金」の公開審査が行われ、補助対象事業に「一般社団法人シニアコンシェルジュ協会」の「シニアお気軽講話会」が選ばれました。

この補助金は、地域活動協議会以外の団体で、淀川区内に拠点を持つ団体が実施する事業に対して補助金を交付することで、複雑化・多様化する地域課題を地域住民自らの視点ですっきり解決することを目的としています。

今回の提案は、シニアに関する専門家（弁護士、税理士、社労士、葬祭ディレクター等）が、地域にお住いのシニア層の方々の関心の高いテーマについて無料の講話会を開催するというものです。

選定委員からは、「高齢者のニーズに合った企画を期待する」、「同じような分野で活動する地域団体とコラボレーションし、知識の共有をすることで、地域に根ざした活動を行うことを期待する」という意見がありました。

なお、この講話会は平成30年1月から3月の間に3回開催される予定です。



5. 淀川区在住の木下さんの 作品が選ばれました！

大阪市健康局が公募した「犬猫の理由なき殺処分ゼロ」のロゴマークに、淀川区在住の木下昌三さんの作品が選ばれました。

大阪市では、犬猫の理由なき殺処分ゼロをめざし、様々な事業を実施していますが、依然として他の自治体よりも殺処分の件数が多く、これらの認識を社会全体に広めるためにロゴマークを広く募集していました。



木下さんが多くの人に現状を知ってほしいと作成した啓発ポスター。



木下さん（右）と甲田大阪市健康局長（左）

木下さんは、職業のグラフィックデザイナーと並行し、16年前からボランティア仲間達と犬猫の保護活動を実施。これまでの活動で遺棄、虐待や多頭飼育崩壊の現状を見て、野良犬・野良猫や殺処分を増やさないために、TNR(※)活動に取り組まれています。「多くの人に現状を知ってほしい。そして、いつか殺処分がなくなり、このロゴマークを必要としない日が来ることを願っている」と話されました。

※TNR・・・野良猫を捕獲（T：トラップ）し、避妊手術（N：ニューター）を施し、元の場所に返し（R：リターン）、不要な繁殖を防ぐ活動。

6. 年末に急増する街頭犯罪等 の被害防止を啓発！

12月1日に野中南公園で歳末特別警戒部隊発足式が開催されました。発足式は、歳末警戒に従事する部隊員の士気の高揚を図り、「安全で安心して暮らせるまち淀川区」を確立するために毎年開催されています。

主催者の淀川警察、淀川防犯協会などによる部隊巡視や部隊員の特別点検、淀川警察署員の



救助訓練、みつや・めぐみ幼稚園児達の演技が行われた後、パトカーや白バイなどに隊員が乗り込み区内の歳末警戒に出発しました。

また、12月20日には、塚本クリーンデーを開催。毎月第3水曜日に塚本駅前で、地域の防犯会、警察、区役所が一緒になって街頭犯罪や特殊詐欺被害防止の啓発活動を行っています。

街頭犯罪や特殊詐欺被害にあわないように、みんなで声かけをして注意しましょう！